

SPパレット パース画像

パース画像をワンタッチで手描き風に仕上げることができます。



①イメージパースを図面上に配置する前に効果設定を調節してパースを配置します
※SPファインダーなどの設定をしてからSPパレットを使用するとより綺麗な品質で仕上がります。



詳しい操作ポイントは以下のページを参照してください。



SPパレットきれいなパース作成のための操作ポイント P41~





②図面上に配置したパース画像をダブルクリックします。

画像編集の画面が表示されます。



③「SPパレット」ボタンをクリックします。

SPパレットの画面が表示されます。



④「SPパレット」で設定をします。

元のイメージが表示されます。
クリックすると真ん中のプレビュー画面に大きく表示されます。

結果のイメージが表示されます。
クリックすると真ん中のプレビュー画面に大きく表示されます。



設定した効果の履歴が表示されます。
クリア：設定した効果がクリアされ設定前に戻ります。

スケッチ・スケッチ彩色・水彩：
クリックすると手描き風の効果が設定できます。

+彩色・+緑/赤・ソフト・ハード・アウトライン：
クリックすると右側のカラーで手描き風の効果が設定できます。5色+設定した色にできます。

明るさ・コントラスト・彩度：
クリックすると少しずつ反映されていきます。
↑で強く、↓で弱くなります。

5色
クリックするとカラー選択の画面が表示され、自由に色を設定できます。

詳しい操作ポイントは以下のページを参照してください。

SPパレットきれいなパース作成のための操作ポイント P41～

【効果の設定のバリエーション】

設定していく効果はすべて重なっていきます。
重なり具合によって、効果のバリエーションは無限にできます。

設定例

明るさ↓①++水彩



SPパレット設定一覧

標準画像 (SPパレット無し)



スケッチ



スケッチ彩色



水彩



+彩色 色



+緑/赤 色



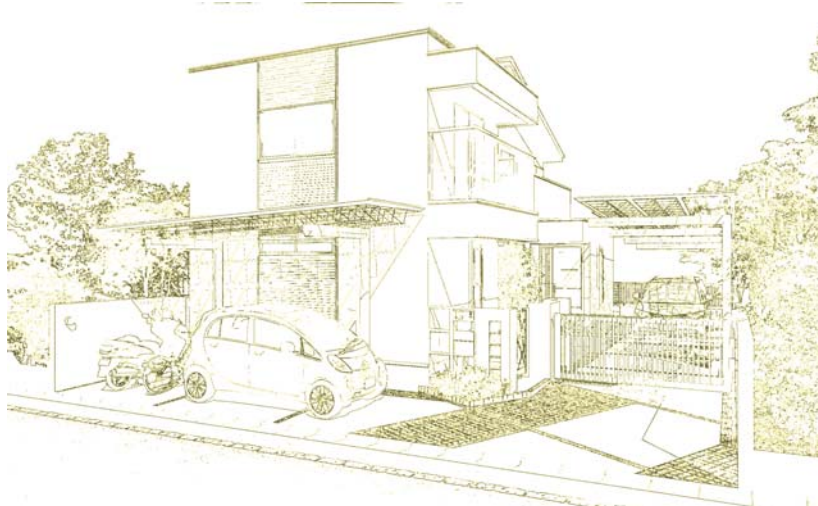
ソフト 色 ■



ハード 色 ■



アウトライン 色 ■



⑤設定が完了したら、OKのボタンをクリックします。



画像編集の画面が表示されます。

⑥OKのボタンをクリックします。



スケッチ風のパース画像の完成です。



【SPパレットで設定する前のパース画像を残しておきたい場合は…】

ダブルクリックしたパース画像がスケッチ風に設定されます。
設定前のパース画像を残しておきたい場合は

①SPパレットで設定前に、元のパース画像をコピー&ペーストまたは編集メニューから複製してから設定。

②SPパレットで設定後、画像編集画面で、「画像を複製する」にチェックをいれてからOKのボタンをクリック。

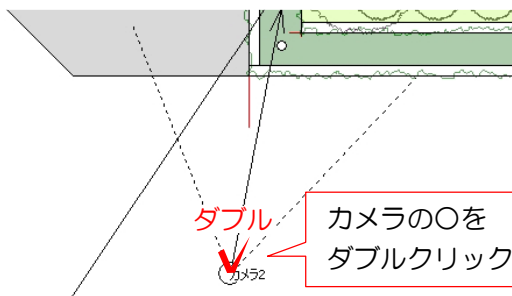


SPパレット エクステリアVR

エクステリアVRをワンタッチで手描き風に仕上げることができます。

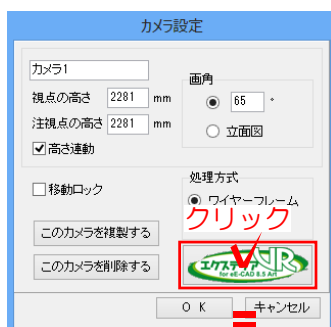


レイヤは「カメラ」



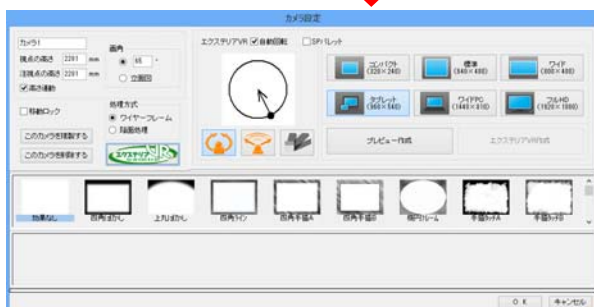
①アングルを設定したカメラをダブルクリックします。

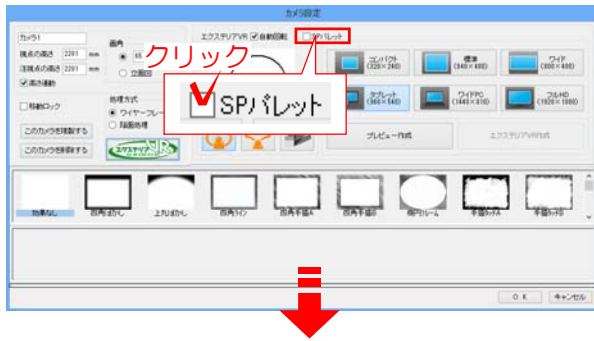
カメラ設定の画面が表示されます。



②「エクステリアVR」ボタンをクリックします。

エクステリアVRの設定画面が表示されます。






③SPパレットをクリックしてチェックを入れます。

SPパレットの画面が表示されます。



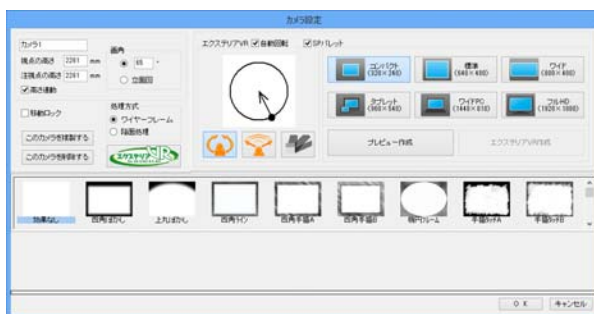
④SPパレットで効果の設定をします。

詳しい設定の方法は以下のページを参照してください。

 [SPパレット画面の説明 P34](#)




⑤設定が完了したら、OKのボタンをクリックします。



⑥エクステリアVRを作成します。

詳しい作成の方法はWEBマニュアルを参照してください。

 [「VRの作成方法」で検索](#)